

このガイドは、コピーコントローラ(以下コントローラ)の組立て手順の一例です。

尚、本キットにはコントローラに接続するための光学ドライブ、ハードディスクドライブ、及び書込み用メディアは含まれておりませんので、ご購入頂いたコントローラの製品仕様、並びにメーカー動作確認済みドライブリスト※注1等をご確認の上、別途適合品をご用意ください。

1) パッケージ内容の確認

- ・ケース(電源ユニット内蔵型)
- ・コピーコントローラ本体
- ・SATAデータケーブル
- ・AC電源ケーブル
- ・ドライブ取付用ビス
- ・コントローラマニュアル※注2
- ・クイックスタートガイド

※注2. コントローラによっては、製品マニュアルが同梱されていない機種があります。その際は、お手数ですが以下のメーカーサイトよりPDFファイルをダウンロード頂いた上、ご利用ください。

<http://www.acard.com/japanese/fc01.jsp>
また、ケーブル、取付用ビスなどはコントローラ機種によって添付される数量が異なります。

2) コントローラ本体の取付

ケース背面のビスを外してカバー部分を外し、装着するドライブの数に応じた適正な位置にコントローラユニットを取り付けます。※注3



3) ソースドライブの取付

本体ユニット直下にソース(コピー元)ドライブを取り付けます。各ドライブの固定には、ベイ側面のビス穴を uses。



4) ターゲットドライブの取付

ターゲット(コピー先)ドライブを順に取り付けます。写真のような1対3コピーコントローラの場合、一般的には左の図のような構成となります。



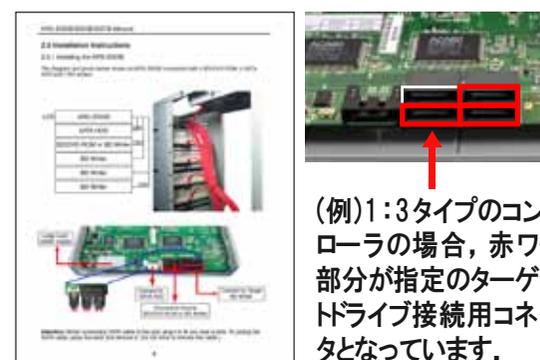
5) SATAケーブルの結線①

指定されたソケットに、付属のSATAケーブルでソースドライブを接続します。尚、指定のコネクタは、コントローラの機種によって異なりますので、コントローラのマニュアルにて必ずご確認ください。



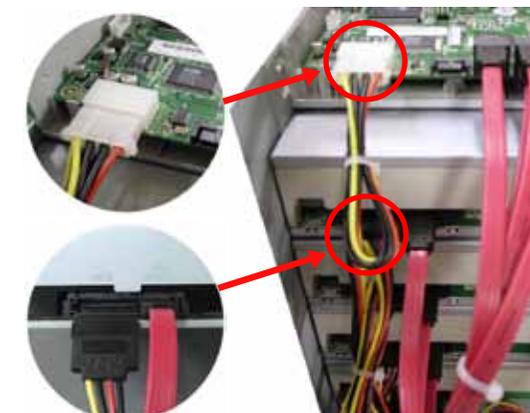
6) SATAケーブルの結線②

ソースドライブと同様に、マニュアル指定のソケットにターゲットドライブを順に接続します。



7) 電源供給ケーブルの接続

コントローラ、及び各ドライブに、電源ユニットからの給電ケーブルを接続します。コネクタの位置・形状は機種によって写真と異なる場合があります。



8) 起動チェックと各種設定

ケース閉じる前に接続ケーブル類の再確認と起動テストを実行してください。正常な起動が確認できたら、続いてコントローラの設定へ進みます。※注4



※注1 動作確認済のドライブリストについては、以下のメーカーサイトから入手が可能です。

<http://www.acard.com/japanese/fc0101.jsp>

※注3 コントローラ、及びソースドライブの取り付け位置は、1:3までの製品はケース上段、それ以上の書込み用ドライブに対応する製品では、SATAケーブル長の関係上、ケース中央部分への装着をお勧めします。

※注4 ご使用にあたっては、事前にコントローラの設定メニューから、ソース(コピー元)ドライブの確認/指定等が必要となります。詳細は、添付の設定マニュアルをご参照ください。